

カインズの夜明け

シリーズ企画 ミタッセイ誕生秘話、
～第6回～



シリーズで会長の創業の物語をお伝えしています。

金沢での商売は決して楽なものではありませんでした。
注文があっても少量のため、従業員は自転車に商品を横付けして運んだそうです。急な坂道を上り、そして下るといふ地道な営業活動が続けて行きました。
昭和30年代に入ってから、ようやくこの活動が実を結ぶことになります。

金沢での商売がようやく軌道に乗り始めた頃、福井では新たな動きがありました。
フクビ化学創業者である、八木熊吉さんと会長をより深く結びつける出来事があったのです。
ある時、八木さんが会長にこう尋ねてきたそうです。
「福井ビニールとして何かできる建材はないでしょうか？」
会長は、亜鉛鉄板で作られているジョイナーという目地棒を見せ、これをビニールでできないかと提案しました。

すると、見本を持って帰ってから10日もたたないうちに
ビニール製のジョイナーを持ってきたのです。
驚きと同時に、そのビニール製のジョイナーを見て
「これはいける！」と確信しました。
早速、県や市、設計事務所に営業に回りました。
会長と福井ビニール営業滝波さんの必死の営業努力もあり、
順化小学校の改築工事の採用されることになったのです。
施工する山本組さんに納入した日は、
嬉しさのあまり二人で事務所で一升瓶を空にしたそうです。

しかし、現実はその甘くはありませんでした。
一週間後、現場である順化小学校に呼び出されると、
そこには目を疑うような光景が広がっていたのです…年明け号へ続く



会長（左）、八木熊吉さん（右）

みんなのらくがき帳

～編集部からの
自由コラム～

以前から欲しくて欲しくてたまらなかったメガネを買って上機嫌の松山です。

先日学生時代の友人の結婚式に参加しました。
卒業以来、久しぶり会う友人たちと思い出話に
華が咲いて年明けには同窓会をしよう!と盛り上りました。
とても幸せそうな友人夫婦、終始笑顔が
絶えない結婚式でした。

ただ…新郎のお母さんにビールを注がれた時…
「息子と同級生ですか？」と真顔で聞かれたのは
ショックでした…。そんなに老けてます？（笑）



「建材」と「愛」をお届けする
タッセイの「人柄」を見せる情報誌



発行

TASSAY

明日の快適を考える
株式会社タッセイ

タッセイ通信

Vol.007 号

2014年11月25日発行

三代目奮闘記



いつもありがとうございます！子どもの頃からトマトが苦手です。
今も食べられないタッセイ3代目・常務の田中陽介です。

「建材屋さんってさ、主にどんな商品を取り扱っているの？」
建築に携わっていない知人に時々こんな質問をされる事があります。
そんな時に僕は
「主に扱う商品のひとつは合板・ベニヤ板ですね」
と答えています。
創業間もない頃から、合板は商売の中心となる大きな柱でした。
会長はその昔『ベニヤのベーさん』とのあだ名で呼ばれていたとか？
今回はそんなタッセイに無くてはならない合板のお話します。

さて10月末に、
3×6サイズの針葉樹合板を製造する工場の中で国内で最大規模を誇る、
秋田プライウッドさんを視察する為に
倉林参与・木村次長・中村課長・松苗課長と秋田県へ行ってきました。

工場の敷地に入ってまず驚いたのが、
見渡す限り一面に広がる秋田スギの丸太、丸太、丸太だらけ！！
数百メートル先までズラーっと山積み数万本の丸太は圧巻でした。
自動化が進んだ工場ではベルトコンベアを丸太が転がり、
薄く長くスライスされて3×6サイズに切断し、貼り合わせます。

ほとんどは機械ですが、人間にしか出来ない仕事があるとのこと。
それはスライスした木材の目利き力。
表面なのか、芯の方なのか使う箇所を決める判断と重ね順、
そして仕上がった合板の検品こそが
人の力でしか出来ない合板づくりのキモとなる重要な部分だそうです。

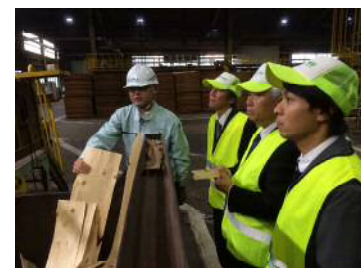
今回最も感じたこと、
それは秋田プライウッドの方たち全員の国産材や秋田スギ、
自社製品に対する愛情がハンパでなく強いこと！
そんな情熱に触れ、
北陸で合板をお届けする僕たちにも火が付きまして。
秋田プライウッドさんに負けない情熱と自信を持って合板を提供する！！
それこそが建材屋タッセイの使命だと、改めて背筋がピツと伸びました。



なまはげとスギッチ



延々と続く丸太の山



熱心に説明を聞く参加者

株式会社タッセイ 常務取締役

田中陽介



今月は田口美由紀さん！

名前：田口 美由紀
所属：総務経理部
勤続：2年
最近気になってる人：西島秀俊、登坂広臣



タ：タッセイ通信今月号のゲストは総務経理部のお母さん！田口美由紀さんです。

入社2年なんですね。もともとは何の仕事をしていたんですか？

田：総務経理のお母さんになったつもりないんですけど…(笑)

新卒で仕事を始めて以来ずっと経理一本です。

タ：経理の仕事一筋なんですか？それはすごい！！

では、前の会社に比べて何か違ってありますか？

田：今まで経験した会社経理より複雑で、
支払い先が多いので大変ですがとてもやりがいがあります！！数字がピタって合うとすっきりしますよね！！

タ：その感覚、僕には…わかんないっす。(笑)

それだけ経理の仕事を続けていたら、やっぱり家計に厳しかったりとか？

田：それが全然なんですよ…。細かく管理したいのはやまやまなんですけど。
仕事で細かくやっていると、家では何もやりたくなくなるんですよ。まあ、いいかってすぐなっちゃいます。
旦那も同じ職種ですが、二人とも家計簿って何？って感じです。(笑)

タ：では、趣味って何かありますか？

田：あまり自分の時間がとれないので、今は娘とショッピングするのが楽しいかな。

タ：娘さんとショッピングとか素敵ですね。お子さんは娘さんおひとりですか？

田：娘の下にサッカー少年の息子がいます。子ども二人育てるのって結構大変で、
タッセイに入る前はパートで働きつつ子育てに専念していました。
経理の仕事ってどうしても時間がかかって残業しなければならない時があるんですけど、
今でも早く帰らせてもらう時もありますし、
会長、社長をはじめ、周りの人たちに理解してもらい支えてもらっているなって日々感謝しています。
もちろん、総務経理の娘たちにもね♪(笑)

タ：社員のみんなが互いに支え合える環境って理想ですけど、なかなかないですよな。

では、最後に何か一言ありますか？

田：娘たちよ、早く結婚なさい！！母より。(笑)

田口美由紀さん、お忙しいところ、ありがとうございます！

来月は、情報システム室の加藤誠一さん！（右）出てくれるかな？



みなさん、こんにちは！

秋になり食べ物が美味しくて困っている松山です。

今回のイベントレポートは10月18日（土）に行われた
「TOTO ショールーム 秋の感謝祭」をクローズアップ。

これから新築やリフォームをお考えのお施主様を対象にした
ショールームイベント。

8社の工務店さんと協力しながら最新の設備機器をご案内。

僕自身も驚いたのが、節水型のトイレです。

約10年前は水を流すのに1回13ℓも必要だったのが

今ではなんと！3.8ℓまで節水することが可能になったようです。

それだけ節水できれば、水道代もかなり節約出来ますね♪

実はこのイベントのもう一つの目玉がタリーズコーヒーの
プロのコーヒーアドバイザーによる「美味しいコーヒーの淹れ方講座」
午前と午後に1回ずつ開催し、みなさん興味深々。
プロの方が淹れるコーヒーと同じように参加者が淹れてみるとその差は歴然。
まったく味が違い、ただお湯を注ぐ単純な作業に奥の深さを感じました。
今度の休みに今回学んだ方法で美味しいコーヒーを淹れてみようと思います。
でもその前に道具を揃えないといけませんが…。

ここで参加して頂いた㈱木だて家 山田部長より感想を頂きました。

今商談中のお客様が来てくれて、節水型のトイレや器具をお見せすることが
出来て、よかったです。
外に輪投げやスーパーボールすくいもあって小さな子供も楽しんでくれました。
大型のリフォーム現場、これを期に契約を頂けると良いのですが…。

絶好のイベント日との土曜日、参加された工務店さんもお客様も笑顔に
なれる内容でした。

今後も工務店さんの仕事に繋がるイベントを企画していきますよ！

それでは今回のイベントレポートはこれにて終了！また次回にご期待ください。



TOTO福井ショールーム



お客様に最新の設備機器を説明



コーヒースクール 皆さん真剣



意外に難しいお湯の注ぎ方



スーパーボールすくいに大興奮